

達人に聞け

永久保存版 達人スゴ技集 ~2021年下半期~

まんがの達人に、そのテクニックを直撃取材する“達人に聞け!!”。今号はスペシャル総集編! 2021年23号までに登場してくれた先生たちの匠の技から、選りすぐりの“スゴ技”を集めました。これさえ読めば、あなたのまんががレベルアップ! 永久保存版の企画です!!

小さいコマから見せ場の大コマへ! コマの大小でリズムも生まれる



場転ではキャラの位置を明確に



要所要所には位置関係のわかる引きのコマを。位置関係を明確にするのはまんがの基本です。

その2 ネーム編

卓越したネーム力で多くの人気作を生み出した池山田先生が、ネームで一番重要視するのは「パツと見の読みやすさ」。「読みやすくなるには、まずはコマ数を抑える。1ページにつき5コマを超えないよう、理想は見開きで5、6コマくらい。コマ数を減らせば、見せたい大コマをメインに小コマとのメリハリもつけやすくなります」と先生。面白くても読みづらければ、読者は読んでくれません。

ネームの達人スゴ技

読みやすさは「コマの少なさ」で決まる
——池山田剛先生(2021年21号より)

その2 ネーム編

作品の出来を左右する“ネーム”。意識すべきポイントは…?

ネームの達人スゴ技

“おいしい”場面からネームを切る
——池山田剛先生(2021年21号より)

ネームが規定枚数に収まらない人は、池山田先生の方法を試してみてください。「クライマックスから描けば残りの容量が見えるので、どのエピソードをスタート地点にすればいいかがわかります。あとは大事なエピソードから順に入れていくです」。おいしい場面から描くのもアリです!

オシャレの達人スゴ技

梅澤作品のセリフは、スパ抜けて「イマ」な感じがするのも特徴。「若者言葉はだいたい意識して入れています。それだけで、キャラと読者の距離が近づく気がしますね」と先生。ゲームの峡谷にゲーム用語を使わせたり、キャラが出る工夫も。なんとなくセリフをしゃべらせないで。

オシャレの達人スゴ技

セリフでも「イマ」感を
——梅澤麻里奈先生(2021年23号より)

見せ場は前後の流れで作る



描きたいシーンから描いていいとはいえ、ドラマがあってこそその見せ場。見せたい場面だけ考えるのではなく、その場面がどうやったら活きるかを考えて、前後で緻密に流れを作って。

第7回(5号)はラブシーンの達人 蜜樹みこ先生



「楽しい!!! おい!!!」

その4 扉編

雑誌などで気に入った構図を扉の参考にすることが多いという梅澤先生。「同じ構図でもアングルが変わると印象が変わるので、フィギュアをモデルにいろいろな方向から写真を撮って試す」そう。モチーフも原宿を意識したものや大好きな童話など、センスだけに頼らない努力と工夫が。

オシャレの達人スゴ技

勝負はアングルとモチーフで
——梅澤麻里奈先生(2021年23号より)

仕上げも“表情ファースト”で

感情を表す手段として表情が一番大切にする水瀬先生は、仕上げにもこだわりが。「影でニュアンスを出したり、華やかなトーンで飾ることは必要ですが、表情が変わってしまうようでは本来転倒です。表情が変わると、伝えたい感情も伝わらない。仕上げの重要さがよくわかります。



「その回で一番ヒロインが輝くシーンは、光があふれる演出を心がけている」という先生。感情がより際立ちます。

その3 仕上げ編

仕上げ編

“男”を感じさせるには、ほんの少しの差でいい

——佐野愛莉先生(2021年15号より)



ヒーローの達人スゴ技

「首まわりの線と影で骨格を強調

「仁義なき婿取り」の紀羅のように、かわいさと男らしさを両立するためのスゴ技は…? 「女の子より少しだけ首と鎖骨に線を増やし影を多めに入れていきます。それにより骨格が強調され、男の子らしさが出ます」と佐野先生。両立なんて無理と思わず、達人のように細かい工夫を!



指と爪で男女差を!

【男子】指先/丸い、爪の形/四角い
【女子】指先/細い、爪の形/丸い

描き分けの達人スゴ技

キャラの描き分けの最強パーツは“眉”
——くまがい杏子先生(2021年19号より)

キャラの“描き分け”は「個性をいかに理解させるかがポイント」と言うくまがい先生は、あらゆる表現でキャラの内面が滲み出るよう工夫しています。そんな先生が最も重視しているのは“眉”。「長短、角度、寄り具合、可動域…ミリ単位で表情が変わります。目とセットで感情や性格が出やすいパーツなので気が抜けません」。眉の重要性、しっかり認識を。

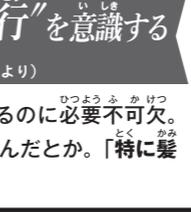


前髪は風で飛ばせど眉は飛ばない

描き分けの達人スゴ技

髪型と服装は“リアルな流行”を意識する
——梅澤麻里奈先生(2021年23号より)

時代に合ったオシャレはキャラをリアルに感じさせるのに必要不可欠。そのためにも、梅澤先生はしっかり流行を追っているんだとか。「特に髪型と服装は流行り廃りが激しいので意識しています」。



蜂谷は遊び毛で

「描き分けの達人スゴ技 魅力的なキャラクターは日頃の間観察から」
——くまがい杏子先生(2021年19号より)

「読者に、こういう子が友達だったらいいな」と思ってもらえるようなヒロインを意識しています。ヒロインの恋を、自分の友達として心から応援してほしいんです」と水瀬先生。「応援したい」は「読みたい」につながることを覚えておいて。

その1 キャラクター編

カッコいいヒーロー、かわいいヒロイン…まんがはキャラクターが命! 達人たちがいかにして魅力的なキャラを作り上げているのかをご紹介します!

外見について

感情が伝わるからこそヒロインは“かわいい”!
——水瀬藍先生(2021年17号より)

「まんがである以上、絵はキャラの感情を表現するための手段」と言う水瀬先生。ヒロインのかわいさは、魅力的な内面を追求した結果です。「特に目、それから髪や唇でも気持ちは表現できます」と先生が言うように、使えるパーツ全てで感情を表現して!



目・髪・唇で感情を表現

▲何かを伝えたいときは黒目がちにして自力を強く。
▶感情が動くときも動く。だからこそロングヘアにするのだとか。



内面について

「読者に、こういう子が友達だったらいいな」と思ってもらえるようなヒロインを意識しています。ヒロインの恋を、自分の友達として心から応援してほしいんです」と水瀬先生。「応援したい」は「読みたい」につながることを覚えておいて。